

令和7産 美里地区の大豆情報

第4号 令和7年9月10日

宮城県美里農業改良普及センター

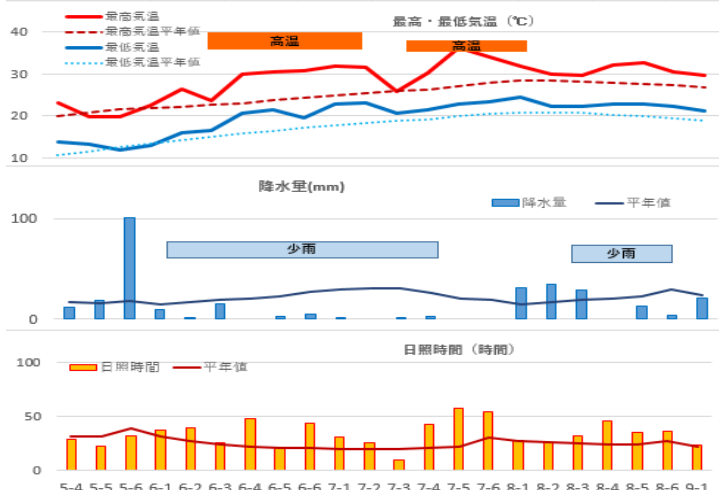
TEL:0229-32-3115

FAX:0229-32-2225

<https://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>

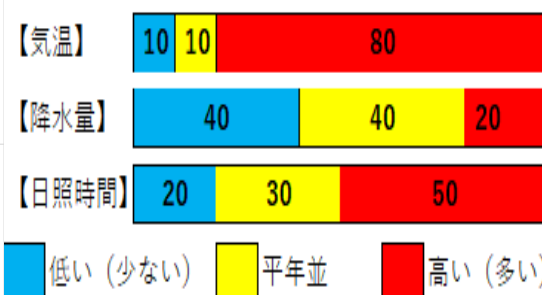


1 気象経過及び生育状況 (鹿島台アメダスより)



★向こう1か月予報 (9/6~10/5)

1か月の気温、降水量、日照時間の階級の確立 (%)



8月の気温は暖かい空気に覆われ、前線や低気圧に向かって暖かい空気が流れ込み、かなり高くなりました。降水量は太平洋高気圧に覆われたため少なく、日照時間は多くなりました。向こう1か月予報では、東北太平洋側では期間の前半は気温が高くなる見込みで、降水量は平年並みか少なく、日照時間は平年より多いと予報されています。

2 生育状況

生育調査結果 (調査日: 9月1日)

品 種	調査地点	区 分	播種日	主茎長 (cm)	主茎節数 (節/本)	分枝数 (本/本)
ミヤギシロメ	美里町青生	本年値	6/20	100.1	15.9	2.8
		前年値	6/18	74.9	14.8	3.7
		前年差	2	25.2	1.1	△0.9
すずみのり	大崎市田尻大沢	本年値	6/10	62.0	14.6	3.7
タチナガハ (晩播)	大崎市鹿島台木間塚	本年値	7/13	85.1	11.6	1.0
		前年値	7/1	77.3	12.8	1.2
		前年差	12	7.8	△1.2	△0.2

【標播】

・6月以降降雨が少ない状況が続いていましたが、生育は概ね順調となっています。8月に入り6日、7日、10日から12日にかけて降雨があり、この降雨後、急激に生育が旺盛となり、蔓化や倒伏の発生しているほ場が見られます。

【麦後晩播】

標播同様8月の降雨で主茎長がかなり伸長しています。

3 今後の管理

(1) 湿害対策 大雨に備えてほ場の排水対策を確認しましょう

9月は8月に次いで台風の発生数が多い月であり大雨の心配があります。台風や局地的な大雨に備え、雨が降る前に湿害対策をしっかりとることが重要となります。改めて排水溝や明きょの点検に努め、排水溝との接続を確認するなど、急な雨に備えて、ほ場の排水機能を確認・改善しましょう。

- ① 播種前に施工した明渠が排水路につながっていることを確認する。
- ② 排水路に雑草や土砂がたまっていないことを確認する。

(2) 雑草対策 手取りや薬剤散布により雑草種子を増やさないようにしましょう

オオオナモミやイチビ、アレチウリなど、雑草の発生量が多いほ場が散見されます。草種に合わせた対策を行いましょう。

アメリカセンダングサやシロザ、オオオナモミなどは大型化し、コンバイン収穫の妨げとなるほか、イヌホオズキなどは汚粒の原因ともなります。手取り除草を早めに行うなど、雑草の種子をほ場に落とさないよう心がけましょう。

アレチウリやアサガオ類などの難防除雑草が発生しているほ場が確認されています。できるだけ手取り除草を行うとともに、次年度の対策（体系処理など）をしっかりと検討しましょう。

(写真：みやぎの大豆・麦類栽培技術指導指針より)



オオオナモミ



ホソアオゲイトウ

イチビ

～農作業安全確認運動実施中～

令和7年9月1日から11月30日まで

徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策